

企画総務委員会 送付 29-8

明大通り街路樹の保存と地域説明会開催を求める陳情

受付年月日 平成29年8月24日

陳 情 者

陳情書

(趣旨)

夏になると大きく葉を広げて私たち通りに住むもの働くもの学生さんや子どもたちにも「涼」をあたえてくれる明大通りのプラタナス並木は、長らく神田に住む者にとっては、原風景の一つでもあります。

昨年、神田警察通りのイチヨウの木が伐採されるとの報道が続き、千代田区議会は住民の声に耳を傾け、計画を見直すように区を指導されたと聞き安堵しておりました。しかし、このたびどうしたことか明大通りについては従来の計画どおりプラタナスは伐採されると聞き、大変ショックを受けています。

私たちは沿道もしくは近隣に住み、時には生活道路として時には商売のため、時にはお祭りの神輿や山車を引きながら、この道を数えられないほど往き来してきました。しかしながら、道路車線の変更をも含むこの度の道路整備工事が、どんな目的のために行われるのか一度たりとも説明を聞いたことはありません。

聞くところによると、1期工事の工事費は約2億3000万円、その後駿河台下の交差点にいたる2期工事には東京都からの補助金が入るとの報道もあります。

読売新聞によれば、東京都ではオリンピック開催時の暑さ対策として千代田区靖国通りのプラタナスを含む2000本の街路樹の緑陰を広げるとの計画を発表したとのこと。また、神田祭の際、一車線が減ることになると、神輿が通るときの流れはどのようになるのだろうかと不安の声もあがっていました。道路の変更は区民への説明と協議なくしてありえません。落ち葉の処理が大変ならば、清掃ボランティアをよびかければ、健康と環境のためにと協力の手はいくらでも上がるはずで、それがコミュニティの力にもなるはずで、私たち住民も協力を惜しみません。

私たちが生まれたころからここにあり、私たちが亡くなったあともここに生き続けるはずの街路樹をどうか保存しながらまちづくりを考えていただきたく陳情いたします。

以上

平成29年8月24日

千代田区議会議長 松本 佳子 殿